

優良賞

幸せ×3

龚 霞
G O N G X I A

私には三人の父と三人の母がいます。主人の両親、私を育ててくれた両親、そして私を産んでくれた両親です。

私が初めて産みの親と育ての親が違うことを知ったのは四歳の時でした。近所のおばさんから「あなたはもらい子なのよ」と知らされたのです。でも私はそんなこと信じず、十歳まで明るく元気な子で育ってきました。

ところが私の十歳の誕生日の日に、突然知らない親子が私にプレゼントを持って来てくれました。一緒に来た男の子は私の顔に似ていました。私はその時、昔聞いたおばさんの言葉を思い出しました。そして、この親子は私の本当の親と兄弟に違いないと感じました。それと同時に本当の親を憎む気持ちが生まれました。なぜ、私を他人に預けたのか？なぜ、私が本当の親と離れなければならなかったのか？私はその理由を説明して欲しいと思うようになりました。

その後理由もわからないまま、私は十九歳の時に結婚しました。間もなく可愛い男の子が誕生しました。それからすぐ研修生の選抜試験に合格し、愛する家族と離れ日本へ来ました。特に、一歳になったばかりの息子と離れて生活するのはとてもつらい事でした。

日本に来たばかりの頃は、「どうして本当の親は私のことを受け入れてくれないのか」という気持ちがありました。でも今は、本当の親への感情がまったく変わりました。

今私は、息子の事が心配で、毎日家族に電話をします。親子が離れて生活していると、親は子供をととても心配に思います。あるとき、私は考えました。「私が息子を思うように、今でも本当の両親は、私を心配に思っているのでは」と。もし、私が日本に来ていなかったら、そう考えなかったと思います。

私は、本当の両親を憎む気持ちを持っていた自分を恥ずかしく思いました。本当の子供を手放したい親はいません。その決断をしなければならなかった両親の苦しい心を全然考えなかった私を許してほしいと思いました。

この気持ちを本当の親に伝えたいという思いが毎日毎日大きくなってゆき、勇気を出して、本当の父に電話をしました。

すると父は、「私こそ許してほしい。私の家族は皆、あなたの健康を心配しています。お金は大切だけど万能ではない。体が一番大切だ。食べ物にお金を使う事を惜しまないで毎日生活してください」と、話してくれました。父の話す言葉一つ一つに、娘を想う父の温かい人柄を感じ、涙が出ました。

今私は、日本での生活のおかげで、育ててくれた親や主人の親だけではなく、本当の親にも感謝の気持ちを持てるようになりました。中国に帰ったら本当の両親にも会いに生きたい、そして、本当の両親と今までよりももっと親しく交流したいと想っています。

三人の父母がいる私は、人の三倍幸せ者だと思います。三人の父母には、いつまでも健康で長生きしてほしいと思っています。

区分	技能実習生
国籍	中国
職種	婦人子供服製造
受入れ企業	古宮縫製株式会社
受入れ団体	PNJ 事業協同組合